

二之江小学校 生活科評価規準

単元名	がっこう だいすき			教科書の ページ	p.1～26
配当時数	20 時間	活動時期	4～6 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(1) 従たる内容:(4)(8)(9)

単元の目標		学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。
	主体的に学習に 取り組む態度	学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
がっこうの ことが しりたいな			
・みんなで教室や学校を見て回り、教室や学校の施設が自分の生活にどう関わっているのかを考え、安心して遊びや生活をする ことができるようにする。 p.4～7	5	①～⑤：下記の学習活動を、合科・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をして実施する。 ・友達と自己紹介をし合う。 ・教室の施設の役割や使い方を、教師や友達と話す。 ・みんなで学校の中を見て回り、教室や学校の施設の役割を、教師や友達と話す。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察
みんなと なかよく なりたいな			
・友達や学校生活を支える人々と関わり、安心して遊びや生活 することができるようにする。 p.8～9	3	①～③：下記の学習活動を、合科・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をして実施する。 ・友達と一緒に遊ぶ。 ・みんなで遊んだことを、友達と話す。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
ともだちと がっこうを たんけんしよう			
・自分が興味をもった場所へ探検に行き、そこにあるものや、その役割について考え、学校の施設の位置や働きなどに気付くことができるようにする。 p.16～17	3	①～②自分が興味をもった場所に探検に行き、教室で見付けたことを教師や友達と話す。 ③場所や時間を変えてもう一度探検に行き、見付けたことを教師や友達と話す。	[知技]発言・行動観察 [知技]発言・行動観察
がっこうに いる ひとと なかよく なろう			

・学校にいる人と直接関わる中で、自分たちの学校生活を支えている人々との関わりを見付け、その働きや役割などに気付き、学校の人や施設と関わろうとすることができるようにする。 p.18～19	4	①～②学校にいる人に、仕事のことや学校のことなど、自分が知りたいことを聞きに行く。 ③聞いてきたことを友達と話し、次の探検に行く場所や人について話し合う。 ④もう一度自分の知りたいことや気になることを学校の人に聞きに行く。教室に戻って、聞いてきたことや気付いたことを教師や友達に話す。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察
がっこうで みつけた ことを つたえよう			
・学校探検で見付けたものや気付いたことを友達と伝え合う活動を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して生活を送ることができるようにする。 p.20～21	3	①学校探検で心に残ったものや人を絵や文字など、自分なりの方法で表す。 ②～③絵や文字などで表現したものを見せながら、学校探検で見付けたことを伝え合う。学校の施設やそこにいる人について、みんなで話す。	[知技]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
みんなで つうがくろを あるこう			
・みんなで通学路を歩き、自分たちの通学路の施設や安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、ルールやマナーを守って安全に登下校することができるようにする。 p.22～23	2	①～②みんなで通学路の一部を歩き、地域の人々や安全を守っている人々と触れ合い、安全な歩き方を知る。教室に戻り、安全な登下校をするためのルールやマナーについて、教師や友達と話す。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察

単元名	きれいに さいてね			教科書の ページ	p.27～39
配当時数	8 時間	活動時期	6 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(7) 従たる内容:(8)(9)

単元の目標		植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、植物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
たねを まこう			
・育てる植物を決めたり、たねをまいたりして、たねの色や形、大きさなどの特徴に気付き、成長への願いをもち、植物に心を寄せ、大切に育てていこうとすることができるようにする。 p.28～29	2	①～②幼児期の経験を話し合っ て、育てる植物を選び、たねや 鉢、土などの準備をしてたねを まき、その喜びや成長への願い を絵や文で表現する。	[知技]作品・発言・行 動観察 [態度]作品・発言・行 動観察
せわを しよう			
・植物の育つ場所、変化や成長の様 子に関心をもって働きかけ、それ らが成長していることに気付く とともに、適切に世話を続けるこ とができるようにする。 p.30～31	1	常時活動 休み時間などを使って、 成長の様子を観察したり、鉢の 置き場所や水やりの仕方などを 友達と相談したり、記録したり しながら世話を続ける。 ①植物が倒れそうになったり、つ るが絡まったりするなどの問題 が起きたら、みんなで解決策を 話し合い、実行する。	[知技]作品・発言・行 動観察 [知技]作品・発言・行 動観察 [思判表]作品・発言・ 行動観察
はなの ようすを つたえよう			
・開花の喜びを絵や文で表現した り、花で遊んだりなど植物の成長 の様子に関心をもって働きかけ、 植物への親しみをもちることがで きるようにする。 p.32～33	2	常時活動 朝の時間や休み時間など を使って、植物の世話を続けな がら、成長の様子を観察する。 ①つぼみや花の様子を観察し、開 花の喜びを絵や文で表現する。 ②開花した花を残すため、押し花 や叩き染めなどをする。	[知技]作品・発言・行 動観察 [思判表]作品・発言・ 行動観察
たねを とろう			
・自分が世話をしてきた植物のた	3	常時活動 休み時間などを使って	[知技]作品・発言・行

ねを集めたり, 今までの活動をまとめたりして, 植物が生命をもっていることや, 自分が大切に育てることができるようになったことに気付くことができるようにする。 p.36～37		植物の様子を観察し, たねを集める。 ①集めたたねを観察したり, 数を数えたりする。 ②～③これまでにかいた記録カードを活用して, まとめの作品をつくり, 友達と見せ合いながらこれまでの栽培活動を振り返る。	動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
あきにも そだてよう			
・秋から育てられる植物があることを知り, これまでの経験を生かして, 新たな栽培活動に取り組むことができるようにする。 p.38	外	・育てたい植物を選び, たねをまいたり, 苗や球根を植えたりする。 ・開花を楽しみにし, 成長の様子を観察しながら, 親しみをもって世話を続ける。	[思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察

単元名	なつが やって きた			教科書の ページ	p.40～56
配当時数	8 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(4)(5)(6) 従たる内容:(3)(8)

単元の目標		夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いたりするとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、身近な自然を取り入れて自分たちの生活を楽しくしようとするができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けている。
	主体的に学習に 取り組む態度	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
こうていで くさばなや むしを さがそう			
・草花や樹木、虫などの動植物の様子に直接働きかけ、身近な動植物の特徴を見付け、草花や樹木を使って工夫して遊び、自然の様子に気付くことができるようにする。 p.42～43	2	①校庭で、夏の草花や樹木、虫などの動植物の様子を観察したりする。 ②草花や樹木を利用して遊びを工夫したり、遊びに使うものを工夫してつくったりする。活動を振り返り、気付いたことをカードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
みんなの こうえんで あそぼう			
・ルールやマナーを守って、公園の遊具や自然物を使って遊び、公園にはみんなで使うものがあることや、利用方法やきまりが存在していることが分かり、大切に利用することができるようにする。 p.44～45	3	①～②安全に気を付けて、身近な公園まで歩いていき、公園で遊ぶ際のルールやマナーを確認しながら、遊具や自然物を使ってみんなで楽しく遊ぶ。 ③学校に戻ったらすぐに、公園で気付いたことを話し合い、記録カードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察
みずで あそぼう			
・水を利用して、何度も繰り返し遊びながら、遊びに使う物を工夫してつくり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、みんなと遊びを創り出すことができるようにする。 p.46～47	2	①身の回りにあるものを使って、水を利用した遊びを楽しむ。 ②道具を工夫しながら水を利用した遊びを楽しむ。	[思判表]作品・発言・行動観察
あめあがりの こうていを たんけんしよう			
・雨あがりの校庭の自然に直接働きかけ、晴れの日との違いや雨の日の特徴を見付け、気付いたことを生かして自分の生活を楽しくすることができるようにする。	外	・雨あがりの校庭の様子や自然の様子を観察したり、自分で考えた雨の日の遊びを楽しんだりする。	[知技]作品・発言・行動観察

p.48～49			
たのしかった ことを つたえよう			
・夏の自然と自分との関わりを振り返り、友達と交流することを通して、夏の自然と関わる楽しさに気づき、それらを取り入れ自分たちの生活を楽しくしようとする ことができるようにする。 p.52	1	①夏の自然を観察したり、遊んだりしたことなどを振り返り、友達と交流する。	[態度]作品・発言・行動観察

単元名	いきものと なかよし			教科書の ページ	p.57～65
配当時数	6 時間	活動時期	9 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(7) 従たる内容:(8)

単元の目標		身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、動物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
むしを さがそう			
・校庭の草むらなどで虫を探し、それらの生息している場所を見付け、虫の特徴や育つ場所に気付き、捕まえた虫を教室で飼育しようとするができるようにする。 p.58～59	3	①校庭などに出かけ、虫を探したり、観察したりする。教室で、虫を見付けた場所や捕まえ方を話し合い、虫を捕まえる計画を立てる。 ②準備をして、虫を捕まえに行く。 ③捕まえた虫を友達と見せ合い、捕まえた場所や捕まえ方を話し合い、記録カードにかく。	[思判表]作品・発言・行動観察
むしと なかよく ならう			
・捕まえた虫を観察したり、餌やすみかを用意したりするなど、虫の育つ場所や変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付き、親しみをもち大切に飼うことができるようにする。 p.60～61	3	①より適切な虫の飼い方を調べ、飼育環境を整える。 [常時活動]休み時間などを使って、餌を用意したり、すみかを整えたりして、虫の世話をする。 ②気付いたことを記録カードにかき、友達と伝え合う。 ③虫をこれからどうするのか話し合い、元いた場所（捕まえた場所）に帰す。	[知技]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
みんなで どうぶつを かおう			
・友達と一緒に、動物の立場に立って世話の仕方を決め、継続的に世話をし、それらが生命をもっていることや成長していることに気付き、親しみをもち、大切にすることができるようにする。 p.64～65	外	・動物の飼育環境を整えて継続的に飼育し、観察する。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

単元名	たのしい あき いっぱい			教科書の ページ	p.66～82
配当時数	21 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(5)(6) 従たる内容:(3)(4)(8)

単元の目標		秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、身近な自然を取り入れ自分たちの生活を楽しくしようとするができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びや遊びに使う物を工夫してつくことの面白さ、自然の不思議さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
こうていで あきを さがそう			
・草花や樹木、虫などの動植物に直接働きかけ、夏の様子と比べながら違いや特徴を見付け、自然の様子や四季の変化に気付くことができるようにする。 p.68～69	3	①～②校庭で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物の様子を観察したり、木の実などを使って、その場で、友達と簡単な遊びを楽しんだりする。 ③夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話し合い、記録カードにかく。	[思判表]作品・発言・行動観察
こうえんで あきを さがそう			
・秋の公園に出かけ、動植物を観察したり、自然を利用して遊んだりし、夏の頃と比べながら違いや特徴を見付け、身近な動植物の様子が夏から秋になって変化していることに気付くことができるようにする。 p.70～71	3	①～②身近な公園に出かけ、公園で遊んだり、秋の草花や樹木、虫などの動植物の様子を観察したりする。 ③夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話し合い、記録カードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [知技]作品・発言・行動観察
はっぱや みで あそぼう			
・秋の自然に直接働きかけて遊び、秋の自然物を比較したり分類したりして、身近な秋の自然の違いや特徴を見付け、季節によって生活の様子が変わること気付くことができるようにする。 p.72～73	3	①～②秋の自然の中で遊んだり、葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫したり、簡単なおもちゃをつくったりして、友達と楽しく遊ぶ。 ③秋の自然を利用して遊ぶ楽しさや友達と遊ぶ楽しさなどについて振り返り、気付いたことを友	[思判表]作品・発言・行動観察

		達と話し合い、記録カードにかく。	
あきの ことを つたえよう			
・秋の自然と自分との関わりを振り返り、夏の様子と比較して違いや特徴を見付け、身近な自然の四季の変化や、季節によって生活の様子が変わることに関心、自分の生活を楽しくしようとする事ができるようにする。 p.74	1	①秋の自然を観察したり、遊んだりしたことなどを振り返り、友達と交流する。	[知技]作品・発言・行動観察
あきの おもちゃをつくろう			
・校庭や公園で集めた葉や木の実などを使って、遊びに使う物を工夫してつくり、遊びの面白さや、自然の不思議さに気付くことができるようにする。 p.76～77	7	①校庭や公園で集めた葉や木の実、身の回りから集めた材料だけを使って遊ぶ。 ②～③おもちゃや楽器を工夫してつくりながら遊ぶ。 ④～⑤自分がつくったおもちゃや楽器を改良したり、つくるおもちゃを変えたりしながら遊ぶ。 ⑥～⑦つくったおもちゃで友達と一緒に遊びながら、もっと楽しく遊べるように、つくり方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむ。	[知技]作品・発言・行動観察 [知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
いっしょに あそぼう			
・自分がつくった遊びで園児と楽しく遊ぶ中で、遊びや遊びに使う物をさらに工夫してつくり、友達や園児と一緒にルールをつくらせて遊ぶことの面白さに気付く、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。 p.78～79	4	①～②園児と楽しく遊べるように、おもちゃの作り方や遊び方を工夫する。 ③園児と一緒におもちゃで楽しく遊ぶ。 ④おもちゃで楽しく遊び、気付いたことを話し合い記録カードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [知技]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

単元名	じぶんで できるよ			教科書の ページ	p.83～91
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(2) 従たる内容:(8)(9)

単元の目標		家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどについて考え、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、生活上必要な習慣や技能を身に付け、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家族のことや自分でできることなどを見付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
じぶんの いちにちを みつめよう			
・自分の家庭生活を見つめ直し、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。 p.84～85	3	①家庭での、自分の1日の生活を振り返る。自分の1日の生活を調べる。 ②調べてきたことを基に、自分の1日の生活をワークシートにかく。 ③友達と、ワークシートを基にして、見付けたことや気付いたことを話し合う。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
じぶんで できる ことを しよう			
・家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを見つめ直し、家庭生活における自分の役割や、自分でできることを見付け、家庭での自分の役割を積極的に果たそうとすることができるようにする。 p.86～87	6	①家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを振り返る。 家庭 家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを調べる。 ②調べてきたことを伝え合う。 ③家庭で自分ができることを考え、実施する計画を立てる。 家庭 自分でできることに取り組む。 ④～⑤自分が取り組んだことを発表し合い、さらにできることを考え、記録カードにかく。 家庭 自分が考えたことに取り組む。	[思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

		む。 ⑥家庭で取り組んだことを振り返り、よかったことや気付いたことを記録カードにまとめ、グループで伝え合う。	
これからも つづけよう			
・自分の家庭での役割を継続的に果たしたり、増やしたりするとともに、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとするができるようにする。 p.88	3	①自分がさらに続けていきたいこと、挑戦したいことを考え、記録カードにかく。 ②自分が続けていることを、グループの友達と伝え合う。 ③（期間をおいて）自分が家庭や学校で続けていることや、続けてよかったことなどを発表し合う。	[知技]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
むかしから つたわる あそびを たのしもう			
・地域の人に昔から伝わる遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付き、進んで触れ合い、交流しようとするができるようにする。 p.90～91	外	・地域の人を招待したり、訪ねたりして、昔から伝わる遊びを教わり、一緒に遊ぶ。 ・楽しかったことや気付いたことを振り返り、遊びを教えてくれた人にお礼の気持ちを伝える。	[思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

単元名	ふゆを たのしもう			教科書の ページ	p.92～104
配当時数	9 時間	活動時期	1 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(4)(5)(6) 従たる内容:(3)(8)

単元の目標		冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、身近な自然を取り入れ自分たちの生活を楽しくしようにすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようにしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
こうていで ふゆを さがそう			
・冬の自然に直接働きかけ、夏や秋の様子と比べながら違いや特徴を見付け、自然の様子が、冬になって変化していることに気付くことができるようにする。 p.94～95	2	①～②校庭で、冬の草花や樹木、虫などの動植物の様子を観察したりして、気付いたことをカードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
ふゆの こうえんに いこう			
・公園を支えている人々と直接触れ合い、支えている人々のよさを感じたり働きを捉えたりして、公園には、自分たちが気持ちよく使えるように支えてくれている人々がいることなどが分かり、大切に利用することができるようにする。 p.96～97	3	①～②冬の公園へ行き、公園で遊んだり、公園に来ている人と関わったり、公園を管理している人にインタビューしたりする。 ③夏や秋に遊んだ時のことを思い出し、自然や生活の様子の変化、公園を利用している人のこと、掃除や管理をしている人のことなどを話し合い、気付いたことを記録カードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
そとで あそぼう			
・風車や凧など風を利用した遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、友達と楽しく遊ぶ面白さや、風によって起こる自然の不思議さに気付き、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。 p.98～99	3	①風を利用して友達と一緒に簡単な遊びをして楽しく遊ぶ。 ②風を利用した遊びに使う物をつくり、風を利用して友達と一緒に楽しく遊ぶ。 ③実際に遊んで気付いたことや友達の工夫を参考にして自分の遊びに使う物をさらに工夫するとともに、気付いたことを記録カ	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察

		ードにかく。	
ゆきや こおりで あそぼう			
・雪や氷を利用して、繰り返し試しながら遊びをつくり、雪や氷の起こす自然の不思議さや遊びの面白さに気づき、友達と力を合わせて遊びを創り出そうとすることができるようにする。 p.102～103	外	・体全体を使って雪や氷に触れたり、雪や氷を使った遊びを工夫したりして、友達と楽しく遊ぶ。 ・友達と、自分のお薦めの遊びを教え合う。	[知技]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
ふゆの ことを つたえよう			
・冬の自然と自分との関わりを振り返り、夏や秋の様子と比較して、身近な自然の様子や特徴を見付け、四季の変化や、季節によって生活の様子が変わることなどに気づき、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするようにする。 p.104	1	①冬の自然を観察したり、遊んだりしたことなどを振り返り、友達と交流する。	[態度]作品・発言・行動観察

単元名	もう すぐ 2 ねんせい			教科書の ページ	p.105～114
配当時数	18 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(8)(9) 従たる内容:(1)

単元の目標		入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べて、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとするができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだり、自分のことや支えてくれた人々について見付けたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
あたらしい1ねんせいを しょうたいしよう			
・来年度入学してくる新しい1年生に、喜んでもらいたいという思いをもち、新しい1年生の気持ちを想像しながら関わり方を決めて関わり、新しい1年生と関わることのよさや楽しさに気付き、新しい1年生と交流することができるようにする。 p.106～107	7	①入学した頃のことを想起し、新しい1年生にどんなことを教えたいか、何を一緒にしたいかを話し合う。 ②～④新しい1年生を招待する準備をする。 ⑤会場の準備や練習をする。 ⑥～⑦新しい1年生を招待して、一緒に活動する。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
しょうたいした ことを はなしあおう			
・新しい1年生と自分たちの姿を比べて、入学してからの自分の成長を実感し、自分の成長に気付くことができるようにする。 p.108～109	2	①会場の後片付けとともに、新しい1年生と関わって感じたことや気付いたことを話し合う。 ②幼稚園などから送ってもらった手紙を読み、招待した活動を通して、自分たちができたことや、1年間の成長などを振り返る。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
いちねんかんを ふりかえろう			
・入学した頃の自分と今の自分を比べて、自分の内面的な成長に気付くことができるようにする。 p.110～111	3	①写真やビデオなどの手がかりを基に、みんなで、1年間の出来事を振り返る。 ②記録(学習)カードや作品を整理してまとめ、自分の1年間の変容を捉える。 ③4人ずつ程度のグループになり、自分たちが大きくなったこ	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察

		とや,できるようになったこと, 役割が増えたことなどを伝え合 う。	
ありがとう わたしたちの きょうしつ			
・新しい1年生のために,自分たちが1年間にしてきたことを作品にまとめることを通して,自分の成長と周囲の人々の存在を関連付け,自分の成長に気付き,周囲の人への感謝の気持ちと,自分の成長への願いをもって,意欲的に生活しようとするができるようにする。 p.112～113	6	①自分たちの教室に来年度入学してくる新しい1年生のために,自分たちにできることを話し合う。 ②～⑤自分たちが1年間に行ってきたことをまとめたものや,学校行事の紹介などの作品を掲示したり,飾り付けをしたりして,新しい1年生のために教室の準備をする。 ⑥教室をきれいに掃除して,新しい1年生を迎える準備をする。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

二之江小学校 生活科評価規準

単元名	春だ 今日から 2年生			教科書のページ	p.1～8
配当時数	6 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	主たる内容:(3)(5)(9) 従たる内容:(1)(6)(8)

単元の目標		春の身近な自然の観察を通して、夏、秋、冬との違いを見付け、四季の変化や、春を迎えて生活の様子が変わったことに気付いたり、学校の周りをみんなで歩き、地域の安全を守っている人々や施設のことが分かったりするとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域への関心を高めようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	春の身近な自然の観察を通して、四季の変化や春に合わせて生活の様子が変わること気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	春の身近な自然の観察を通して、夏、秋、冬の様子と比べ、身近な自然の違いや特徴を見付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	春の身近な自然の観察を通して、春の自然や地域の安全を守っている人に親しみ、地域で安全に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
校ていで 春を さがそう			
・諸感覚を使って、春の自然を観察し、夏、秋、冬の様子と比べ、校庭の自然の違いや特徴を見付け、四季の変化に気付き、春の自然のよさを感じて自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。 p.2～3	3	①～②校庭などで、春の動植物を観察したり、春を感じられるものを探したりして、冬から春になって変わっていることを探す。 ③気付いたことや感じたことを記録カードにかいたり、友達と伝え合ったりして、四季の変化を共有する。	[思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
春の まちを 歩こう			
・学校の周りをみんなで歩き、季節によって、自分たちの地域の生活の様子が変わること気付くとともに、安全への意識を高め、地域の安全を守っている人に親しんで地域で安全に生活しようとするができるようにする。 p.4～5	3	①みんなで学校の周りの地域を歩く計画を立てる。 ②学校の周りの地域に出かけ、安全な登下校の仕方を確認したり、地域の人々と関わったりする。 ③地域の絵地図を見ながら、自分の通学路や家の周りのことを友達と伝え合う。	[知技]作品・発言・行動観察 [知技]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

単元名	ぐんぐん そだて わたしの 野さい			教科書の ページ	p.9～22
配当時数	10 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(7) 従たる内容:(8)(9)

単元の目標		植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に予測しながら、それらの変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、生き物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
野さいを そだてよう			
・植物を育てることに興味をもち、これまでの経験や自分の思いや願いを基に、自分で育てる植物を決め、適切に苗を植えたり、たねをまいたりすることができるようにする。 p.10～11	2	①春から栽培するのに適している植物についてみんなで話し合ったり、育て方を調べたりなどして、自分で栽培する植物を決める。 ②自分が育てる植物の苗を植えたり、たねをまいたりして、気付いたことを記録カードにかく。	[思判表]作品・発言・行動観察
野さいの せわを しよう			
・1年生での経験から予測して植物の世話の仕方を決め、植物の状態を観察して植物が生命をもち成長していることに気付く、友達や周囲の人と関わりながら、植物を育てようとするができるようにする。 p.12～13	3	①植物の様子について話し合い、今はどんな世話が必要かを話し合う。 <u>常時活動</u> 休み時間などを使って、水やりや草取り、施肥など、継続的に世話をしたり、記録したりする。 ②～③必要に応じて支柱を立てる、脇芽を摘むなどの世話をし、その都度記録カードなどにまとめる。	[知技]作品・発言・行動観察 [知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
野さいの ようすを つたえ合おう			
・植物の成長の様子、世話の仕方などを紹介し合う中で、友達の育てている植物と、自分の育てている植物の世話の仕方を関連付けて予測し、世話の仕方を決めるとともに、いろいろな植物に、同じような特徴や性質、変化があることに気付くことができるようにす	2	①～②途中経過報告会を開き、自分の育てている植物の成長の様子や世話の仕方を話し合う。 <u>常時活動</u> 友達の世話の仕方の中から自分の植物に使えるものを選び、実行する。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察

る。 p.14～15			
野さいを しゅうかくしよう			
植物の状態を観察して収穫したり、今までの活動をまとめたりして、植物の成長は、自分の世話と関わっていることに気付き、植物の栽培を楽しみ、生き物を大切にすることができるようにする。 p.18～19	3	常時活動 休み時間などを使って、植物の状態を観察し、熟した植物を収穫する。 ①収穫して気付いたことを記録カードにかき、友達と伝えあう。 家庭 収穫した植物を、それぞれの家庭で報告したり、一緒に食べたりする。 ②～③これまでにかいた記録カードを振り返りながら、これまでの栽培のことをまとめ、友達と発表しあう。	[知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
サツマイモを しゅうかくしよう			
みんなで育てたサツマイモの収穫を喜ぶとともに、これまでの経験や自分の思いや願いを基に、サツマイモの利用方法を決め、植物を栽培することのよさを実感し、植物を栽培しようとするができるようにする。 p.68～69	外	- サツマイモを収穫する。 - サツマイモのつるなどを利用してできる遊びを考え、みんなで楽しく遊ぶ。 - 収穫したサツマイモの世話を振り返り、作品にまとめる。	[思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察

単元名	どきどき わくわく まちたんけん			教科書のページ	p.23～32
配当時数	10 時間	活動時期	5～6 月	学習指導要領の内容	主たる内容:(3) 従たる内容:(8)

単元の目標		地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分の関わりを考え、地域にはさまざまな場所がありさまざまな人がいることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域の人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりについて考えている。
	主体的に学習に取り組む態度	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
まちの ことを 話そう			
・自分のお気に入りの場所や興味のある場所、知っている場所、不思議に思っている場所などを紹介し合い、身近な地域の人や場所と関わろうとすることができるようにする。 p.24～25	1	①自分の生活している身近な地域の中で、自分がお気に入りの場所や興味のある場所、不思議に思っている場所などを話し合う。	[態度]作品・発言・行動観察
たんけんの 計画を 立てよう			
・友達と探検に行きたい場所を話し合い、計画を立てたり、見直したりしながら、地域の人や場所と関わろうとすることができるようにする。 p.26～27	3	①探検に行きたい場所を話し合い、グループに分かれる。 ②グループごとに、探検する順番や通る道、役割、持ち物、探検のルールやマナーなど、探検の計画を話し合い、計画表にかく。 ③探検の計画と、探検のルールやマナーを確認し、探検に出かける準備をする。	[態度]作品・発言・行動観察
まちを たんけんしよう			
・グループごとに探検に出かけ、地域の人や場所と直接触れ合い、自分の生活との関わりを見付けることができるようにする。 p.28～29	3	①～③グループごとに、計画に沿って探検に行き、地域の場所やもの、人と関わる。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
見つけた ことを つたえ合おう			
・探検で見つけた場所やもの、関わった人のことを、絵地図に貼るなどして友達と伝え合い、地域には、自分たちの生活と関わっている	3	①探検で見つけたことを、グループごとに振り返り、気付いたことを記録カードにかく。 ②見つけたことの中で、いちばん	[知技]作品・発言・行動観察

る場所がたくさんあることに気付き, 地域の人や場所に親しみを持ち, 積極的に関わろうとすることができるようになる。 p.30～31		伝えたいことを付箋紙にかき, 絵地図に貼る。 ③絵地図を見ながら, 自分たちが調べてきたことや, 新しく見つけたことなどを発表する。	
---	--	--	--

単元名	生きもの なかよし 大作せん			教科書のページ	p.33～46
配当時数	10 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	主たる内容:(5)(7) 従たる内容:(3)(8)

単元の目標		動物を探して捕まえたり，飼育したりする活動を通して，それらの育つ場所，変化や成長の様子に関心をもって働きかけ，それらが成長していることや，自分たちと同じように生命をもっていることなどに気付くとともに，生活上必要な習慣や技能を身に付け，動物への親しみをもって，生き物を大切にしようとするができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	動物を探して捕まえたり，飼育したりする活動を通して，動物が成長していることや，自分たちと同じように生命をもっていることに気付くとともに，生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	動物を探して捕まえたり，飼育したりする活動を通して，動物の育つ場所，変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
	主体的に学習に取り組む態度	動物を探して捕まえたり，飼育したりする活動を通して，動物への親しみをもって，生き物を大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
生きものの ことを 話そう			
・身の回りで，生き物を見付けたことがある場所や，生き物がいそうな場所について話し合い，身近な動物と関わろうとすることができる。 p.34～35	1	①ふだんの生活の中で見付けた動物の種類や，それらの生息している場所について話し合う。	[態度]作品・発言・行動観察
生きものを さがそう			
・動物の育つ場所に関心をもち，動物を捕まえる計画を立て，安全に気を付けて，みんなで動物を探しに行ったり，捕まえた動物の世話の仕方を決めたりすることができるようにする p.36～37	3	①本で調べたり，詳しい人に聞いたり，自分たちが知っている方法を話し合ったりして，動物を採集しに行く計画を立てる。 ②計画した場所に出かけ，安全に気を付けながら，友達と協力して動物を捕まえる。 ③動物のために餌やすみかを整えてから，捕まえたときのことや，捕まえた場所のことなどを振り返り，気付いたことを記録カードにかく。	[思判表]作品・発言・行動観察
生きものを そだてよう			
・捕まえた動物を飼育し続けたいという思いをもち，動物の育つ場所，変化や成長の様子を予測して見通しを立て，動物の世話の仕方を決め，動物が生命をもっていることや成長していることに気付く，生き物を大切にすることができるようにする。 p.38～39	3	①飼い続けるために必要な餌やすみかについて話し合ったり，調べたりする。 ②～③動物を捕まえた場所のことを想起してすみかをつくるなど，動物に応じた世話をする。 常時活動 休み時間などを使って，世話をしたり，様子を観察したりしながら，継続的に飼育する。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察

生きものの ことを つたえ合おう			
・自分たちが飼育してきた動物のことを振り返り, 作品にまとめる中で, 動物のことを考えて継続的に世話をできるようになった自分自身に気付き, 動物への親しみをもって生き物を大切にしようとするができるようにする。 p.42	3	①～②これまでの飼育のことを振り返り, 伝えたいことを, グループで話し合って決め, 作品をつくる。 ③友達と, 作品や実際に飼っている動物を用いて, 見付けたことやこれまで世話をしてきたことを伝え合う。	[知技] 作品・発言・行動観察 [知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察

単元名	うごく うごく わたしの おもちゃ			教科書の ページ	p.47～58
配当時数	12 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(6) 従たる内容:(8)

単元の目標		身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなど工夫してつくることができ、遊びの面白さや不思議さに気付く、生活上必要な習慣や技能を身に付け、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。
	主体的に学習に 取り組む態度	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
つくりたい おもちゃを きめよう			
・動くおもちゃで遊ぶことやつくることに関心を持ち、身近にある物を使っておもちゃをつくることのできるようにする。 p.48～49	1	①見本のおもちゃで遊び、つくるおもちゃを決める。	[態度]作品・発言・行動観察
うごく おもちゃを つくろう			
・動きを予想したり実際に試したりしながら材料を選び、おもちゃを工夫してつくり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くことのできるようにする。 p.50～51	3	①～③見本のおもちゃや教科書、図鑑などを参考にして、おもちゃに必要な材料や道具を考えて用意し、試行錯誤しながら、自分のおもちゃをつくり、動かして遊ぶ。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
もっと よく うごく おもちゃに しよう			
・友達のおもちゃと比べたり、何度も試行錯誤したりしながら、おもちゃを改良し、自然の不思議さに気付く、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。 p.52～53	3	①自分がつくったおもちゃで遊んだり、友達と競争したりする。 ②～③友達と比べたり、工夫したところを教え合ったりして、試行錯誤しながら、さらに自分たちのおもちゃの機能が高まるように改良する。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
あそび方を くふうしよう			
・自分たちがつくったおもちゃを使って遊び、友達と相談しながらルールを変え、実際に試してみながら遊びを見直し、ルールや遊びを工夫して、友達と一緒に遊びを創り出す面白さに気付く、遊びを創り出そうとすることができる	5	①みんなで楽しく遊ぶためのルールや遊び方、準備することなどについて話し合う。 ②みんなで遊ぶために、おもちゃや会場の準備をしたり、遊び方の紹介パンフレットなどをつくらせたりする。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

ようにする。 p.54～55	③～④遊びながら，おもちゃを改良したり，さらに楽しくするためのルールを考えたりする。 ⑤みんなで遊んだり，友達に教えてもらったりしたことを振り返り，記録カードなどにかく。
------------------------------	---

単元名	みんなで つかう まちの しせつ			教科書の ページ	p.59～70
配当時数	6 時間	活動時期	10 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(4) 従たる内容:(3)(8)

単元の目標		公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、それらを大切にし、正しく完全に利用しようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなで使うものがあることや、それらを支えている人々がいることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切にし、正しく、安全に利用しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
図書かんを つかおう			
・ 図書館を利用する中で、図書館のよさを感じ、図書館は自分たちだけでなく、さまざまな人が利用していることに気づき、それらを大切にし、正しく利用しようとする ことができるようにする。 p.60～61	3	① 図書館などの公共施設を利用する際のルールやマナーについて確認し、出かけるための準備をする。 ②～③ 地域の図書館に出かけ、本を読んだり、借りたりするなどして、実際に図書館を利用する。学校に戻り、図書館を利用したことを振り返り、気付いたことを記録カードに表現する。	[知技] 作品・発言・行動観察 [知技] 作品・発言・行動観察
図書かんの ことを 聞いて みよう			
・ 図書館司書の人やボランティアの人と関わる中で、図書館やそこで働く人のよさを捉えたり、働きを捉えたりして、図書館を支えている人がいることや、図書館には、みんなが気持ちよく利用できるためのさまざまな工夫があることに気づき、図書館を大切に扱い、利用しようとする ことができるようにする。 p.62～63	2	① 図書館に行き、図書館のことを調べたり、図書館司書の人やボランティアの人、利用者などにインタビューしたりする。 ② 学校に戻って、活動を振り返って話し合い、気付いたことを記録カードに表現する。	[思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
みんなで つかう しせつの ことを 話し合おう			
・ 身の回りの公共施設を利用した経験について共有する中で、地域の公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりして、自分たちの暮らす地域にはみんなで使うものが多様に存在していることに気	1	① 児童館や科学館など、身の回りの公共施設の利用経験を思い出し、話し合う。	[知技] 作品・発言・行動観察

付くことができるようにする。 p.64～65			
---------------------------	--	--	--

単元名	もっと なかよし まちたんけん			教科書の ページ	p.71～80
配当時数	12 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(3) 従たる内容:(5)(8)

単元の目標		地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを考え、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域の人々に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを考えている。
	主体的に学習に 取り組む態度	地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
たんけんの 計画を 立てよう			
・春のまち探検や夏休みに、人や場所と関わった経験を基に、もう一度行ってみたい場所や知りたいことを話し合い、行く場所を決めて、探検の準備をし、地域の人や場所と関わろうとすることができるようにする。 p.72～73	2	①絵地図を見ながら、春のまち探検や夏休みに行った場所のことを振り返りながら、探検に行きたい場所や話したい人、聞きたいことなどを話し合い、まち探検のグループを決める。 ②グループごとに、探検する場所や聞きたいことを確認し、順番や通る道、役割、持ち物、探検のルールやマナーなど、探検の計画を話し合い、計画表にかく。	[態度]作品・発言・行動観察
もう いちど たんけん に 行こう			
・探検の計画に沿って、グループで地域に出かけ、自分の知っているほかの場所と比べながら、地域の人や場所の特徴や役割を見付け、地域のさまざまな場所には、生活したり働いたりしている人がいることに気付くことができるようにする。 p.74～75	3	①～②グループごとに、計画に沿って探検に行き、地域の人と関わったり、インタビューしたりする。 ③活動を振り返り、まち探検で聞いてきたことや気付いたことを、友達や教師に話し、記録カードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
見つけた ことを しょうかいしよう			
・まち探検で関わった人や場所と、友達に関わった人や場所を比べて共通点や相違点を見付け、まち探検で分からなかったことやもっと知りたいことを調べようと、もう一度探検に行こうとする	2	①グループごとに見つけたことを整理して発表し合い、次の探検への見通しをもつ。 ②グループごとに次にしたいことを相談し、もっと詳しく調べたいことについて話し合い、もう	[思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

ことができる p.76～77		一度探検に行く場所を決める。	
まちの 人に 聞きに 行こう			
・地域の人に質問して、地域のことを調べ、地域の人々が自分たちの生活と関わっていることや、地域の人々が自分たちの地域に寄せる思いに気づき、親しみや愛着をもつことができるようにする。 p.78～79	3	①前の探検に関わった人に、もっと詳しくインタビューする計画を立て、探検の準備をする。 ②～③グループごとに、計画に沿って探検に行き、地域の人にインタビューする。	[知技]作品・発言・行動観察 [知技]作品・発言・行動観察
分かった ことを 話し合おう			
・地域で見付けたことを振り返って友達と伝え合い、自分たちの地域には、すてきな人や場所がたくさんあることなど、地域のよさに気づき、地域への親しみや愛着をもつことができるようにする。 p.80	2	①探検で分かったことをグループで話し合い、ほかのグループの友達に伝える準備をする。 ②デジタルカメラで撮ってきた写真を見せ合ったり、絵地図を見ながら口頭で話したりして、地域で分かったことを、友達と発表し合う。	[知技]作品・発言・行動観察

単元名	つながる 広がる わたしの 生活			教科書の ページ	p.81～94
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(3)(8) 従たる内容:(4)

単元の目標		自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、進んで触れ合い交流しようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
つたえたいな まちの すてき			
・これまでの活動における地域の人々との関わりについて友達と交流し、伝える相手のことを想像しながら、伝える相手と伝えることを選び、地域で関わった人のことを、身近な人々に伝えようとするができるようにする。 p.82～83	3	①秋の探検で出会った人や、見付けたことを個々に振り返り、自分が伝えたいことを記録カードに書く。 ②「まちのすてき」を友達と伝え合う。 ③出会った人や見付けたことについて、もっと多くの人に伝えたいと思うことを話し合う。	[思判表]作品・発言・行動観察
もっと くわしく しらべよう			
・伝える相手のことを想像して、さらに調べたいことを決め、インタビュー、手紙や電話などの多様な手段を適切に使って詳しく調べ、地域には自分たちの生活を支えている人々がいることに気付くことができるようにする。 p.84～85	3	①伝えたいことについて考え、もっと詳しく知りたいことをどのように調べればよいか話し合う。 ②～③多様な手段を活用し、さらに詳しく調べる。	[知技]作品・発言・行動観察 [知技]作品・発言・行動観察
つたえたい ことを まとめよう			
・地域の人に伝えるための作品をつくり、伝える相手のことを想像しながら伝え方を選び、地域の人々と交流しようとするができるようにする。 p.86～87	3	①相手意識や目的意識をもち、何を誰にどのように伝えるのかを考える。 ②～③ポスターやパンフレットをつくったり、劇の練習をしたりして、伝える準備をする。	[思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
まちの すてきを とどけよう			
・分かったことを地域の人に伝え、伝えたいことが相手に伝わることのよさや楽しさが分かり、地域	3	①～②集めた情報を、地域の人に伝えたり、発信したりする。 ③地域に伝えたことや発信したこ	[知技]作品・発言・行動観察

の人や場所に、親しみや愛着をもち、憧れをもって関わろうとすることができるようになる。 p.88		とに対しての、地域の人々の反応を共有し、活動を振り返る。	
まちの 人を しょうたいしよう			
・自分の作品を使って、分かったことを身近な人々に伝えたり、身近な人々から感想を聞いたりして、身近な人々と自分たちの暮らす地域のことを伝え合うことの楽しさが分かり、地域の人々に親しみをもち、進んで交流することができるようになる。 p.89	外	・学校に招待するための手紙やポスターをつくり、身近な人々を招待する準備をしたり、発表会の練習をしたりする。 ・保護者や地域の人など、身近な人々を招待し、表現作品を使って、自分の心に残った地域の出来事を発表する。招待した人からの感想を聞くなどして、これまでの活動を振り返る。	[態度]作品・発言・行動観察

単元名	あしたへ ジャンプ			教科書の ページ	p.95～106
配当時数	27 時間	活動時期	1～3 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(9) 従たる内容:(2)(3)(8)

単元の目標		自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考え、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや自分の成長を支えてくれた人々について考えている。
	主体的に学習に 取り組む態度	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
大きく なった 自分の ことを ふりかえろう			
・これまでの表現作品などを手がかりにして、2年間の学習や生活を振り返り、自分のことについて考え、自分ができるようになったことなどに気付くことができるようにする。 p.96～97	3	①写真やビデオ、記録カード、作品などの手がかりを基に、入学してからのお出来事について、みんなで話し合う。 ②自分のつくった表現作品などを見直して、自分ができるようになったことを見付ける。 ③自分たちができるようになったことなどを、友達と伝え合う。	[知技]作品・発言・行動観察
大きく なった 自分の ことを しらべよう			
・友達や家の人などの身近な人々に、自分のことをインタビューして自分の成長についてさらに調べ、過去の自分と現在の自分を比べて自分の成長を見付け、自分や友達の優しい気持ちや内面的な成長に気付くことができるようにする。 p.98～99	6	①～②友達との関わりを振り返り、互いのすてきなところを見付け、カードにかいて渡し合う。 ③～⑤お世話になった人や家の人などに、自分の成長についてインタビューする。 ⑥もらったカードやインタビューなどを手がかりにして、過去の自分と比較して、自分の成長について話し合う。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
自分の ことを まとめよう			
・役割が増えたことや、できるようになったことと、自分が頑張ってきたことを関連付けて自分の成長を見付け、自分がさまざまなことに取り組みながら成長してきたことに気付くことができるようにする。	9	①調べたことの中から、どんな出来事をどんな方法でまとめるのかを決める。 ②～⑦資料や材料を集め、方法を工夫しながら、自分の成長をまとめる。 ⑧～⑨つくった作品を友達と見せ	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察

p.100～101		合い、大きくなった自分たちのことや支えてくれた人のことについて話し合う。	
ありがとうの 気持ちを つたえよう			
・これまでの自分の成長と、身近な人々の存在を関連付け、支えてくれた人々の存在を見付け、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、成長への願いをもって、3年生へ向かおうとすることができるようにする。 p.102～103	9	①～②招待したい人を決め、発表することや方法を考えるなど、発表会の計画を立てる。 ③～⑤発表の方法を工夫し、準備や練習をしたり、招待状を出したりする。 ⑥～⑧感謝の気持ちを伝えるための発表会を開く。 ⑨発表会を振り返り、今後の学習や生活への意欲を話し合う。	[思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察